

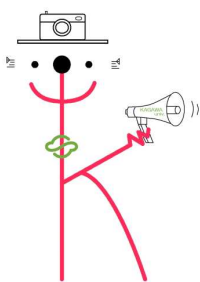
平成28年9月 29 日

国立大学法人香川大学と三木町が

ふるさと納税を活用した包括的連携に関する協定書調印式を開催します。

国立大学法人香川大学と三木町は、希少糖研究推進やその普及に関してこれまでも相互協力をして参りました。このたびその成果としてすでに事業化されているレアシュガースウィート(希少糖含有シロップ)をふるさと納税記念品とした寄附金の一部を財源として、地方創生や地域振興などの分野において一層の連携・協力を図るため協定を締結します。

1. 日時:平成 28 年 10 月 3 日(月) 15:00~15:30
2. 場所:香川大学幸町キャンパス オリーブスクエア 多目的ホール
3. 協定の経緯等:別紙(三木町が記者クラブに配布した資料をご参照ください。)
4. 出席者: 国立大学法人 香川大学長 長尾省吾(ながおせいご)学長
三木町 筒井敏行(つついとしゆき)町長



➤ 問い合わせ先

香川大学 経営管理室 総務グループ 造田

TEL:087-832-1012 FAX:087-832-1053

E-mail:soumst@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

讃岐^{よんぼく}四白?

平賀源内もビックリ!

かつて、香川を代表する産物といえば、塩、砂糖、綿の三白。そして現代、希少糖を新たな「白」へ。

香川大学発! 世界初! 「希少糖」の実用化

香川大学が、世界で初めて可能にした希少糖の大量生産。

食品、医療、農業……希少糖が秘める無限の可能性に、農・医・工学部を中心に全学が連携して取り組んでいます。



ロブシコースの結晶



【記者発表資料】

平成28年9月29日
三木町役場
政策課
担当 村尾 森
電話 ダイヤルイン 087-891-3302
内線 2212 2213
FAX 087-898-1994

**三木町・国立大学法人香川大学
ふるさと納税を活用した包括的連携に関する協定書調印式
を開催します。**

三木町と国立大学法人香川大学は、レアシュガースウィート(希少糖含有シロップ)をふるさと納税記念品とした寄附金の一部を財源として、地方創生や地域振興などの分野において相互に連携・協力を図るため協定を締結します。

- 1 日時 平成28年10月3日(月) 15:00～15:30
- 2 場所 香川大学幸町キャンパス オリーブスクエア多目的ホール
(ご取材の場合は直接会場までお越しください。)
- 3 協定の背景と内容等 別紙のとおり
- 4 出席者 三木町:筒井敏行(つついとしゆき)町長
国立大学法人香川大学:長尾省吾(ながおせいご)学長

香川大学との協定について

経緯

- ・三木町には香川大学医学部及び農学部があり、百眼百考会議（住民協議会）をはじめとする町における各種会議への学生の派遣や、町内ホストファミリーによる留学生の受入、希少糖関連事業など、様々な分野で個々に連携を図ってきました。
- ・このたび、新たに三木町ふるさと思いやり寄附（ふるさと納税）を活用した包括的な連携・協力のもと、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展に寄与することを目的として、香川大学との協定を締結するに至りました。
- ・今後は、昨年度策定した「三木町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を実現するにあたり、希少糖の活用などによる全住民を対象とした生活習慣病予防対策や、専門的な立場から各種有識者会議への教員の派遣、留学生の児童クラブへの訪問・交流を通じた国際交流の推進など、農学部・医学部に限らず“ALL香川大学”との包括的な連携強化を図ることで相互に協力していきます。
- ・これら取組みを確実に実施していくために、三木町ふるさと思いやり寄附の広報を町・香川大学が連携・協力して行います。

香川大学との提携事項

- ①地方創生・地域振興に関すること。
- ②教育研究・文化の振興に関すること。
- ③健康づくりに関すること。
- ④三木町ふるさと思いやり寄附の広報に関すること。
- ⑤その他両者が必要と認める事項

経費負担

- ①三木町ふるさと思いやり寄附制度にて、記念（返礼）品にレアシュガースウィート（希少糖含有シロップ）を選択した者の寄附金総額の50%相当を充てる。
- ②算定期間としては1月1日から12月31日とし、その翌年度に香川大学に寄附金として支出。

参考

●希少糖とは

香川県三木町で生まれ、培われてきた夢の糖「希少糖」。希少糖は自然界にはほとんど存在しない糖ですが、三木町にある香川大学農学部の何森特任教授が1990年初頭に発見した酵素により、果糖から「D-プシコース」への変換（異性化）に成功し、現在の希少糖の大量生産へとつながっています。希少糖は、三木町希少糖研究研修センターをはじめ、香川大学農学部や医学部で研究が進められているほか、地域振興や教育の分野でも大きな注目を集めています。